



WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN・SAITAMA

# しらぼと

## 2008.4

No. 288

日本野鳥の会 埼玉県支部

S H I R A K O B A T O



# ぜひ、また行きたい「ホンコン」!

藤掛 保司 (川越市)

鳥見を始めた頃、手近なところの海外バードウォッチングは「ホンコン」が一番良いと聞かされてきました。今回、現地に詳しいYさんからお誘いがあり、今年の1月末、妻共々鳥友7名(6名は香港が初めて)で、その企画に参加してきました。

## ● 第1日目

場所はタイポカウ(大埔カウ自然護理區)、山野の鳥が中心。Yさんの案内で公園と山の最短のハイキングコース。7名で探鳥。

ハイロオウチュウ・クロウタドリ・ヒロサンショウクイ・ベニサンショウクイ・クリイロヒヨドリ・エンビタイヨウチョウ・ピロウドゴジウカラ等々。

途中、非常に珍しいという虹花荷(吊鐘王)の花が咲いており、蜜を吸いに沢山のきれいな野鳥の群れが絶えず集まっていました。サルもお弁当の時に近づいて来ました。

## ● 第2日目

マイポ(米埔)で水辺の鳥中心。香港観鳥會メンバー5名も参加し合計12名で探鳥。

マイポは、ラムサール条約に世界で一番早く登録された場所だそうです。入場には漁農自然護理署の許可を前もってとっておくこと、さらにフェンスの海側の湿地に出るには別に警察署の許可が事前に必要、取得には4週間ほどかかったとのことでした。

監視塔があつて、高い金網と丸い輪になった鉄条線のフェンスに一箇所だけ設置された扉から湿地側に入ります。観察舎へは、マングローブの間のドラム缶の浮き木道を歩いて行きます。



片側に手すりがありますが、すれ違う事が出来ないくらいの狭さです。観察舎(30名収容)は今までの2ヶ所(3舎)と、昨年11月に遠く離れた場所に増設された1ヶ所の計3ヶ所(4舎)で、1日の入場者数は制限されています。

フェンス内内周では、先ずクロツラヘラサギ(327羽飛来中!!)を近くで見て、ハシビロガモ・カワウの群れ等々。海側フェンス外湿地では、以前谷津干潟に1羽飛来して見に行った記憶のあるソリハシセイタカシギが3,000羽程の群れ!! ダイシャクシギの大群、シベリアオオハシシギ(1羽)・ゴビズキンカモメ(1羽)・オニアジサシ(1羽)・ヤマショウビン(1羽)・タカサゴモズ(1羽)、他に日本でも観察出来るシギチドリ類が近くで多く見られ、野鳥観察として最高の場所でした。

## ● 第3日目

チンペイチョイで山野と湿地の探鳥。Yさんの案内、7名で探鳥。

ヒメヤマセミ(4羽)・アオショウビン(数羽)・ベニバト・コイカル・アカガシラサギ・シロハラウミワシ(1羽)・オオバンケン・キマユカナリア・クビワガラス等々。

近くにはマンションの高いビル群が立ち並び、百数十名のウォーキンググループの人たちとも出会いました。

## ● 第4日目

中国、深圳(しんせん)・福田紅樹林海浜公園で水辺の鳥。香港観鳥會メンバー9名が参加し合計16名で探鳥。香港から中国側に渡つての鳥見、マイポの対岸になるのでしょうか。

アカガシラサギ・クロツラヘラサギ・コガモ・キンクロハジロ・ミサゴ・セイタカシギ・ソリハシセイタカシギ・ヒメヤマセミ(1)・カワセミ・アリスイ・オナガサイホウチョウ・ムジセ

ツカ等々。海岸沿いは椰子林の公園になっており、一般の人達も多い場所でした。

● 滞在中に観察した野鳥たち (太字: 日本ではなかなか見られない)

**4日間とも出現 (9種)**: **ダイサギ**・トビ・カノコバト・ハクセキレイ・**コウラウン**・シロガシラ・シキチョウ・メジロ・スズメ

**3日間出現 (23種)**: カイツブリ・カワウ・アオサギ・コサギ・アカガシラサギ・クロツラヘラサギ・ヒドリガモ・コガモ・オナガガモ・ハシビロガモ・キンクロハジロ・ミサゴ・バン・コチドリ・アオアシサギ・イソシギ・カワセミ・ツメナガセキレイ・**アジアマミハチワドリ**・シジュウカラ・クビワムクドリ・ハッカチョウ・カササギ

**2日間出現 (21種)**: カンムリカイツブリ・シロハラクイナ・オオバン・セイタカシギ・ソリハシセイタカシギ・ダイシャクシギ・アカアシシギ・コアオアシシギ・トウネン・セグロカモメ・ユリカモメ・ベニバト・ヒメヤマセミ・キセキレイ・ピンズイ・**タカサゴモズ**・**カオグロガビチョウ**・ソウシチョウ・アオハウチワドリ・シマキンパラ・ギンムクドリ

**1日のみ出現 (58種)**: ゴイサギ・ツクシガモ・オシドリ・ヨシガモ・カルガモ・シロハラウミワシ・チュウヒ・ハヤブサ・ケリ・ムナグロ・ダイゼン・シロチドリ・オグロシギ・オオソリハシシギ・ツルシギ・クサシギ・タカブシギ・シベリアオオハシシギ・オバシギ・オジロトウネン・ハマシギ・ウミネコ・オオセグロカモメ・ゴビズキンカモメ・ズグロカモメ・オニアジサシ・オオバンケン・アオショウビン・ヤマショウビン・アリスイ・ツバメ・ベニサンシヨウクイ・ヒロサンシヨウクイ・クリロヒヨドリ・アカハラコノハドリ・ノビタキ・クロウタドリ・ズアカチメドリ・クビワガビチョウ・ガビチョウ・ウグイス・オナガサイホウチョウ・ムジセッカ・キマユムシクイ・メボソムシクイ・コサメビタキ・セボシカンムリガラ・ビロウドゴジュウカラ・エンビタイヨウチョウ・アオジ・キマユカナリア・コイカル・ムクドリ・オウチ



ユウ・ハイロオウチュウ・オナガ・ハシブトガラス・クビワガラス

● 各日毎の観察種数

1日目: 28種、2日目: 71種、3日目: 62種、4日目: 44種

● 夕食はとても美味しく、満喫

1日目 (火鍋料理): 3種類のスープの鍋 (シヤブシヤブ鍋風) に、肉類、魚類、野菜、うどん等。Yさんの友人9名同伴。

2日目 (広東料理): ご飯もあり、米埔の興奮をおかずに。香港観鳥会メンバー4名同伴。

3日目 (上海料理): 食堂内が満席のためビルのエレベーターホールに臨時的テーブル設置。トイレ使用時は食堂からキーを借りないと入れなかった。

4日目 (広東海鮮料理): 生簀の魚介類を選定して料理してもらう。香港観鳥会メンバー2名同伴。

● すばらしい探鳥地でした

「百聞は一見にしかず」。野鳥の種類と多さに驚き、見たかった野鳥を身近で観察する事が出来ました。環境を守る労力が素晴らしかった。

美味しい料理も食べられました。時差は1時間、気候も良く、親切な人達にも多く出会いました。例えば、タクシーに三脚を忘れた時には、運転手さんが先に気がつき戻ってきて届けてくれました。オクトパスカード (乗り物ICカード) に、チャージする方法が分からなかったら、美しい若い女性が近づき、説明と全員のチャージが終わるまで立ち会ってくれました。

ぜひ、また行きたい探鳥地です。

# 2007 年秋 埼玉県タカの渡り調査

日本野鳥の会埼玉県支部研究部

本調査は（表1）の通り実施され、（表2）の結果を得ました。多くの方々のご協力に感謝申し上げます（小荷田行男）。

表1 調査状況

調査地	標高	調査者	調査時間	天候
金勝山げんきプラザ（小川町）	264m	後藤康夫ほか 9名	9/22 8:30～ 12:00	快晴
物見山駐車場（東松山市・鳩山町）	130m	榎本秀和ほか 3名	9/22 8:30～ 12:00	快晴

表2 タカの渡り種別観察数

	トビ	ノスリ	サシバ	計
金勝山元気プラザ	4	5	12	21
物見山駐車場	0	0	9	9

## 野鳥密猟問題シンポジウム参加報告

福井恒人(さいたま市)

2007年12月1日(土)～2日(日)の2日間、和歌山県和歌山市の休暇村「紀州加太」で「第15回野鳥密猟問題シンポジウム in 和歌山」が開催され、埼玉県支部を代表して参加しましたので、報告します。

自宅を早朝に出て新大阪経由会場に到着。12月1日(土)午後1時、和歌山県支部水野哲男氏の司会で開会しました。

セッション1「和歌山県での密猟対策の取り組み」。和歌山県、和歌山県警、野鳥の会和歌山県支部が報告。メジロの鳴き合わせ会が盛んな土地で、2007年4月から6月末で24件60羽を押収して放鳥した。

セッション2「事務局から現地報告/2007」。鹿児島県屋久島で密猟が横行していると、密対連事務局野鳥110番に寄せられた情報に基づいて6月に現地調査、マスコミの協力を得て屋久島警察署は5人の密猟者を検挙、90羽を発見、密猟の道具や大量のかごを押収した。屋久島の亜種シマメジロは良く鳴くとの評判で、ブランド化している。

セッション3「行政の役割」。東京都自然環

境部計画課岩崎浩美氏が、「野鳥を守る行政の役割」と題して「人の手によって自由を奪われ、傷つけられ、命を絶たれる野生鳥獣を守ることが真の鳥獣保護であり、行政の役割であると確信している。鳥獣保護法は全国同じなのに、真剣に取り組もうとしない行政・警察もある。なぜ動こうとしないのか？なぜ逃げようとするのか？自分の置かれている立場、義務、権限をもう一度認識してほしい」と熱く語ると、会場に拍手が鳴り響きました。

環境省野生生物課徳田裕之氏の「輸入鳥への足装着について」では、2007年11月現在装着例はないと報告されました。ここで第1日目は終了。

第2日目、セッション4「野鳥識別講座」。山階鳥研標識調査室茂田良光氏がメジロ亜種の識別について解説。ここ数年ブランド化している亜種シマメジロが西日本で押収された場合は、そのままそこで放鳥されるおそれがあり、亜種識別の必要性が強調されました。

セッション5「全国各地の実態」。群馬、愛媛、愛知、熊本、大阪などから実態報告があり、閉会となりました。

今年も、東京都岩崎氏の言葉が心に残るシンポジウムでした。



## 野鳥情報

**さいたま市岩槻区岩槻文化公園** ◇11月4日、シメ、クイタダキ、ヤマガラ、カケス、ジョウビタキ、ホオジロなど。11月5日、ツツドリ、シメ、ベニマシコ♂1羽初認。元荒川でマガモ♀1羽、イソシギ、カワセミ♂1羽、ツグミらしき4羽の飛翔。11月6日、シジュウカラ、コゲラ、メジロの混群中にエナガ4羽+、ヤマガラ1羽。ジョウビタキ♀、シメ、アオジ、クイナの声、ツツドリなど。11月7日、ベニマシコ♀の飛翔、シメ、アカハラ、シロハラ、クイタダキ3羽、エナガ4羽、クイナの声。遠く南の空に大小の猛禽2羽飛ぶ。オオタカ若鳥1羽。11月8日、エナガ、クイタダキ今日は声のみ、クイナも声、ツグミが入ってきた。アカハラ、セグロカモメ成鳥、ツツドリがまだいた。11月9日、シジュウカラ、コゲラ、メジロにクイタダキ、エナガ、ヤマガラが加わっている。ツグミ、シメ、ベニマシコ♂1羽。オオタカ若鳥にカラスがモビング。元荒川でカワセミ。オナガガモ♂1羽♀3羽の飛翔。ツツドリらしきを樹間でチラリと見る。11月12日、ユリカモメ初認。ジョウビタキ♀2羽の追いかけあい。アカハラ、シロハラ。ツツドリ終認。釣堀横にタヌキ発見、3頭いるとのこと。11月13日、ユリカモメ6羽上流へ。アカハラ、シロハラ、クイタダキ2羽、ヤマガラ1羽、キセキレイ初認。11月16日、シメ、アオジ、ツグミ、ウグイス、ジョウビタキとほぼ冬の鳥そろそろ。ヤマガラ1羽、クイタダキ3羽、エナガ3羽+。「キ、キ、キ…」の声の主を探したら、アシ原の灌木の上でアリスイ1羽久々の確認。キセキレイ、セグロカモメなど。11月17日、アシ原遠くから「ヴィ、ヴィ」の声、見ると上空を通過する小鳥、双眼鏡で長めの尾、赤い体、2本の白い翼帯を確認、久々のベニマシコ♂1羽。アリスイの声。西の空にチョウゲンボウ舞う。樹冠のツグミが胸を張りノドの白が輝いていた。11月19

日、ヤマガラ1羽。尾のないシジュウカラがいた。ノスリ1羽がカラスに追われ飛ぶ。ブレーキテストコース南端にノウサギが現れた（鈴木紀雄）。

**さいたま市岩槻区南辻周辺** ◇11月27日、元荒川の慈恩寺の街灯でセグロカモメ成鳥1羽、付近にはユリカモメ3羽が飛ぶ（鈴木紀雄）。

**さいたま市岩槻区野孫、高曾根、末田周辺** ◇12月5日、高曾根と末田でケリ計4羽。12月9日、高曾根でケリ3羽。翌日も4羽。12月17日、野孫で1羽。12月18日、高曾根と野孫で計11羽。1月3日、野孫で2羽。この周辺で10羽以上が越冬中らしい（鈴木紀雄）。

**さいたま市見沼区膝子** ◇12月3日、ミヤマガラス10羽。少数ながら定着したようだ（鈴木紀雄）。

**越谷市増林** ◇11月23日、古利根川の岸でカリガネ若鳥6羽。対岸から観察したが、黄色いアイリングがくっきり。11月20日に見つかり、11月24日には見つからなかったとのこと（鈴木紀雄）。

**越谷市大成町** ◇11月30日午前10時20分、キジ♂1羽、道路を歩いていた（小菅靖）。

**越谷市県民健康福祉村** ◇12月1日、ユリカモメ、毎日のように飛来し、少ない時で6～7羽、多い時で60～70羽来る（小菅靖）。

**蓮田市黒浜東埼玉病院周辺** ◇11月27日、病院内の東縁でクイタダキ5羽+、今年にはクイタダキが多い（鈴木紀雄）。◇1月2日、シメ、ジョウビタキ、シロハラ、ツグミ、ルリビタキ♀、シジュウカラ、メジロ、ウグイス、カシラダカ、アオジ、イカル、コジュケイ、トラツグミ。トラツグミは20m先の木の枝で発見、向こうもこちらに気がついて、数分間お見合いとなる。1月14日、シロハラ4～5羽、アカハラ、ツグミ、トラツグミ1羽、メジロ、アオジ、カシラダカ、モズ2羽。クイタダキ4～5羽、赤松の梢で群がって飛んでいた。シメ2羽、コゲラ、ハクセキレイ、シジュウカラなど。1月16日午前10時頃、病院外周の林の中、大木中段の枝に黒い鳥がとまっ

ていた。一瞬、カラスかと思ったが、姿が違う。後ろ向きにとまっていたのが、振り向いて、二つの黄色の目でじっとこちらをみつめている。その距離約20m。ハイタカだった。飛んでいるのは何度も見ているが、枝にとまっているのは初めて。しかも20mの近さだ。大感激。家内と娘にも初めての体験。5分位そのまま見つめ合い、やがて飛び去った(本多己秀)。

**蓮田市黒浜沼** ◇12月14日、上沼の縁、草の中を歩くクイナ1羽(鈴木紀雄)。

**蓮田市笹山** ◇12月9日、やっとタゲリ3羽確認。1月8日、畦道でホオアカ1羽(鈴木紀雄)。

**蓮田市根金** ◇1月2日、ケリ1羽(長嶋宏之)。

**菖蒲町小林** ◇11月29日、田んぼにおりて採餌しては電線に並ぶニューナイスズメ約300羽、久々の大群。北東の耕作地でカラスの大群。車で接近、ミヤマガラス約300羽の中にコクマルガラス40羽ほどが混じる。白マル(コクマルガラス淡色型)も3羽いた(鈴木紀雄)。◇12月31日、ミヤマガラス120羽+の群れの中にコクマルガラス、白マル2羽、黒マル(暗色型)1羽が混ざっていた(榎本秀和)。

**渡良瀬遊水地** ◇12月2日、トビ数十羽、ノスリ2羽、ミサゴ2羽、コチョウゲンボウ2羽、チュウヒ約5羽(1羽は大陸型)、ハイイロチュウヒ♂3羽、今年のハイイロチュウヒは♀が少ないらしい(鈴木紀雄)。◇1月9日、鷹見台でオオタカ成鳥1羽、コチョウゲンボウ6羽、ハイイロチュウヒ♂2羽♀1羽、チュウヒ1羽、ノスリ1羽、ミサゴ1羽(大きな魚を食べていた)、トビ5羽±(長嶋宏之)。

**羽生水郷公園** ◇12月8日、アカエリカイツブリ1羽(栗原省二)。

**吉見町八丁湖** ◇12月15日、オシドリ♂1羽、トモエガモ1羽、ルリビタキ♀3羽。ここでオシドリを見るのは初めて(本多己秀)。

**狭山市稲荷山公園** ◇12月17日、シメが約50羽。黒い木の実を盛んに啄ばんでいた(久保田忠資)。

**伊奈町小室** ◇12月20日、ミヤマガラス約120羽の群れが乱舞(鈴木紀雄)。

**鴻巣市川里町** ◇1月11日、チョウゲンボウ亜成鳥1羽が、田起こししている耕耘機の後に集まったハクセキレイ、タヒバリを狙っていた(長嶋宏之)。

**鴻巣市立川里中学周辺** ◇1月11日、シラコバト5羽+(長嶋宏之)。

**鴻巣カントリークラブ周辺** ◇1月11日、ミヤマガラス300羽±、田圃で採餌(長嶋宏之)。

**騎西町境** ◇1月11日、アメリカヒドリ2羽、ヨシガモ♂2羽、ヒドリガモ多数(長嶋宏之)。

**坂戸市城西大裏** ◇1月15日午後2時頃、高麗川流域で聞き慣れぬ鳴き声に身を潜めていると、珍しい鳥が3~4羽、8~9m先の樹木の枝にとまり、アングル考える余裕もなく、シャッターを切りました。帰宅後、各種図鑑を見ましたが、見当たりません。ネットの仲間から指摘され、特定外来生物に指定されている、「カオグロガビチヨウ」ではないかと判断しました。ネットで調べると地域、数も比較的少ないようなのでご報告します(田中文武)。

**久喜菖蒲公園** ◇1月16日、ビンズイ4羽松林で採餌(長嶋宏之)。

**上尾市平塚** ◇1月17日、ルリビタキ♂1羽(長嶋宏之)。

**鴻巣市荊原** ◇1月20日、荒川堤防沿いにある牛舎そばの木にシラコバト5羽が居ました。牛の飼料のおこぼれが目的でしょう。場所は荒川左岸で大芦橋から北に1.5km程の大日幼稚園の南側です(森本國夫)。

#### 訂正コーナー

3月号「野鳥情報」5ページ右側中段のシロハラクイナ情報について、「さいたま市桜区芝川」を、「さいたま市浦和区芝川大道西橋上流」に訂正します。

#### 表紙の写真

スズメ目ツグミ科ツグミ属ツグミ  
間もなく旅立ちです。

蟹瀬武男(さいたま市)



## 行事案内



キビタキ(編集部)

### 北本市・石戸宿定例探鳥会

期日: 4月6日(日)

集合: 午前9時、北本自然観察公園駐車場。

交通: JR 高崎線北本駅西口アイメガネ前から

北里メディカルセンター病院行きバス 8:

31 発で「自然観察公園前」下車。

担当: 浅見、岡安、大坂、内藤、島田、立岩、  
永野(安)、永野(京)、山野、長谷川

見どころ: 今年の桜は? 例年4月はお花見探鳥会。色鮮やかになったベニマシコが  
出迎えてくれるでしょうか。気の早いツバメは舞っているでしょうか。

### さいたま市・民家園周辺定例探鳥会

〈ヘルシーロードコース〉

期日: 4月6日(日)

集合: 午前9時、浦和くらしの博物館民家園駐  
車場、念仏橋バス停前。

交通: JR 浦和駅西口バス1 番乗り場から、浦  
和美園駅行き 8:31 発、「念仏橋」下車。

後援: 浦和くらしの博物館民家園

担当: 伊藤(芳)、手塚、工藤、倉林、若林、新  
井(勇)、赤堀、須崎、藤田(敏)

見どころ: 去りゆく冬の鳥たち、春の花々、ツバ  
メをはじめとする夏の鳥たちに会いに行き  
ます。

### 熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日: 4月13日(日)

集合: 午前9時30分、秩父鉄道大麻生駅前。

「要予約」と記載してあるもの以外、予約  
申し込みの必要はありません。初めての方  
も、青い腕章した担当者に遠慮なく声をお  
かけください。私たちもあなたを探してい  
ますので、ご心配なく。

参加費: 就学前の子無料、会員と小中学生  
50円、一般100円。 持ち物: 筆記用具、雨  
具、昼食、ゴミ袋、持っていれば双眼鏡な  
どの観察用具も(なくても大丈夫)。

解散時刻: 特に記載のない場合正午から午後  
1時ごろ。悪天候の場合は中止、小雨決行です。

できるだけ電車バスなどの公共交通機関を  
使って、集合場所までお出かけください。

交通: 秩父鉄道熊谷 9:09 発、または寄居 8:49  
発に乗車。

担当: 後藤、森本、中里、大澤、倉崎、高橋  
(ふ)、藤田(裕)、栗原、飛田、新井(巖)、  
千島、鶴飼

見どころ: 桜や菜の花で色づく大麻生の堤。小  
鳥たちのさえずりでにぎやかなシーズン。  
メジロやカワラヒワのさえずりは? しっかり  
聞いてみましょう。

### 所沢市・狭山湖探鳥会

期日: 4月13日(日)

集合: 午前9時30分西武狭山線西武球場  
前駅前。

担当: 石光、長谷部、久保田、高橋(優)、持  
丸、小林(ま)

見どころ: カンムリカイツブリの鮮やかな夏羽に  
期待し、残り少ないカモ類を探しましょう。  
林では、気の早い夏鳥に会えるかもしれ  
ません。

### 『しらこぼと』袋づめの会

とき: 4月19日(土) 午後3時~4時ころ

会場: 支部事務局 108 号室

### さいたま市・三室地区定例探鳥会

期日: 4月20日(日)

集合: 午前8時15分、京浜東北線北浦和駅  
東口、集合後バスで現地へ。または午前  
9時、さいたま市立浦和博物館前。

後援: さいたま市立浦和博物館

担当: 楠見、福井、倉林、渡辺、若林、小菅、

赤堀、新部、青木、増田、宇野澤、須崎  
見どころ：桜並木は若葉の季節、シジュウカラ  
が毛虫を運んでいます。ムナグロ、コアジ  
サシがやって来ます。天候、季節の移ろ  
いを考えながら楽しいコースを探します。

### 東松山市・物見山探鳥会

期日：4月27日(日)

集合：午前9時30分、物見山駐車場(峠を越  
えた右側)。

交通：東武東上線高坂駅西口から、川越観光  
バス鳩山ニュータウン行き8:51または9:0  
1発で「大東文化大学前」下車、バス進行  
方向へ徒歩約5分。

担当：藤掛、岡安、島田、志村、後藤、増尾、  
高橋(優)、林、中村(豊)、山田(義)

見どころ：ツツジが見頃の物見山。若葉の薫り  
あふれる中で野鳥観察と森林浴。足下の  
チゴユリも可憐な白い花をつけています。

### さいたま市・秋ヶ瀬公園探鳥会

期日：4月27日(日)

集合：午前9時10分、桜区役所バス停付近。

交通：京浜東北線浦和駅西口バスロータリー5  
番乗り場から、荒川総合公園行き8:40 発  
「桜区役所」下車。

担当：倉林、海老原、小林(み)、新部、赤堀、  
増田、金子、舟木

見どころ：すばらしい渡りの季節。日々変化の  
あるなかで、運がよければ、オオルリ、キビ  
タキ、ムシクイ類などとの出会い。いつもの  
鳥たちと柔らかな緑だけでも、きっと楽し  
めます。

### 春日部市・内牧公園探鳥会

期日：4月29日(火・祝)

集合：午前9時15分、アスレチック公園前駐車  
場。

交通：東武伊勢崎線春日部駅西口朝日バス  
3番から、国民年金春日部エミナス行き  
8:41発で「共栄大学・短大前」下車。西へ  
徒歩3分。

担当：石川、吉安、新井(良)、宮下、吉岡  
(明)、野村(弘)、野村(修)

見どころ：里山の雰囲気を残す内牧。雑木林、

屋敷林、水田を歩きながら、居残り組のシ  
メ、ツグミ、アオジ、旅の途中のキビタキ、  
夏鳥との出会いなどに期待。

### 大久保農耕地シギ・チドリ類調査

期日：4月29日(火・祝)

集合：午前9時30分 大久保浄水場北西角近  
くの土手の上、グラウンド入口。

担当：石井 智

解散は昼頃。調査のため参加費は不要で  
す。雨天でも行きます。シギ・チドリが大変少な  
いこともあります。

### 東京都・三宅島探鳥会(要予約)

期日：5月9日(金)夜行(船中泊)～11日(日)

集合：9日(金)午後8時30分、JR 山手線浜松  
町駅(東京寄り改札口前)。

出航：9日午後10時30分、東京港竹芝棧橋。  
現地港到着は10日午前5時の予定。

帰着：竹芝棧橋11日午後8時30分の予定。

費用：30,000円(1泊3食、2等往復船賃、懇  
親会費、保険料など)。万一過不足のとき  
は当日精算。その他島内常時必携ガス  
マスク代2,520円、島内移動バス代1,30  
0円などは別途個人負担。

所持品：10日の朝食と昼食。

定員：20名(当支部会員限定、前回抽選外れ  
の方優先、応募多数の場合は抽選)。

申込み：普通はがきに、住所、氏名、生年月日、  
年齢、性別、電話番号(携帯も可)、喫煙  
の有無を明記(乗船名簿記入、保険加入、  
部屋割りのため必要)して、藤掛保司(

担当：藤掛、榎本(秀)、石光、青木

見どころ：避難解除から3年、バードアイランド  
三宅島は火山、野鳥、森、海、特色ある  
自然がいっぱい。

宿泊：男女別の相部屋です。個室の用意はで  
きません。

ご注意：①火山性ガスの関係で、呼吸器官等  
健康に不安のある方はご遠慮下さい。

②天候などで帰りの船が欠航し、予定通  
り帰れない場合もあります。

### 秩父市・三峯神社探鳥会 (要予約)

期日: 5月17日(土)~18日(日)

集合: 17日(土)午後4時30分、三峯神社バス停前。

交通: 秩父鉄道熊谷 13:27(急行)→お花畑 14:21 着、徒歩約8分で西武秩父駅へ、または所沢 13:38 発飯能乗り換え西武秩父 14:57 着、同駅前からの三峯神社行きバス 15:05 発に乘車、終点 16:20 着。

解散: 18日午前10時頃、三峯神社バス停前。  
費用: 11,500 円の予定(1泊2食、保険料、通信費など)。過不足の場合は当日精算。  
集合地までの交通費は各自負担。

定員: 25 名(当支部会員限定、先着順)

申込み: 往復はがきに住所、氏名、年齢、性別  
電話番号を明記して、橋口長和

まで。

担当: 橋口、玉井、田邊

見どころ: 夕方集まって1泊、早朝探鳥だけの会です。前夜は温泉につかって鳥談義に花を咲かせ、早起きしてオオルリ、キビタキ、アオバト、ゴジュウカラを探し、10 時にはもう解散です。

宿泊: 宿坊「興雲閣」で男女別の相部屋です。  
個室の用意はできません

### 長野県・戸隠高原探鳥会 (要予約)

期日: 5月24日(土)~5月25日(日)

集合: 24日午前9時00分、長野駅コンコース  
新幹線改札口を出て右側

交通: 長野新幹線「あさま 503 号」(東京 6:52  
→大宮 7:18→熊谷 7:32→高崎 7:50→長野 8:43 着)、または「あさま 505 号」(東京 7:28→大宮 7:52→長野 8:53 着)

費用: 10,500 円の予定(1泊3食、現地バス代  
保険料など)。過不足の場合は当日精算  
集合地までの交通費は各自負担。

定員: 30 名(先着順、県支部会員優先)

申込み: 往復はがきに住所、氏名、年齢、性別、  
電話番号、喫煙の有無を明記して、菱沼一充  
まで。

担当: 菱沼、藤掛、中里

見どころ: 一昨年昨年と、思いがけない出会い

がありました。今年は? もちろん、キビタキ、コルリ、クロジなどの常連組と、おそばも皆さんをお待ちしております。

注意: 宿泊は男女別の相部屋です。個室の用意はできません。

### 2007 年県内鳥見ランキング結果発表

#### 普及部

観察鳥種数部門では鈴木敬さん、昨年 158 種に続き 172 種と、記録を塗り替えて堂々のチャンピオン継続。

探鳥会参加数部門は、藤掛支部長が各地の探鳥会を回り、27 探鳥地 47 回の参加、初めてのチャンピオンに輝きました。

#### 2007年観察鳥種数ランキング

順位	鳥種数	観察最終日	氏名	住所
1	172	12月16日	鈴木 敬	小川町
2	147	11月25日	佐藤 宏	越谷市
3	146	11月17日	青木正俊	さいたま市
4	142	12月28日	野口 修	川口市
5	135	12月29日	新井 巖	深谷市
6	134	12月16日	新部泰治	さいたま市
6	134	12月22日	榎本秀和	鴻巣市
8	127	12月16日	植平 徹	越谷市
9	119	12月28日	新井勇吉	川口市
10	115	12月25日	舟木数樹	さいたま市
11	110	11月25日	久保田忠資	狭山市
12	109	12月16日	田邊八州雄	越谷市
13	102	12月12日	大坂幸男	上尾市
14	88	11月4日	浅見 徹	さいたま市
15	86	12月15日	四分一保雄	羽生市
16	71	11月11日	橋口長和	春日部市

#### 2007年探鳥会参加ランキング

順位	参加回数	探鳥地数	氏名	住所
1	47	27	藤掛保司	川越市
2	41	27	鈴木 敬	小川町
3	40	21	大坂幸男	上尾市
4	33	23	佐藤 宏	越谷市
4	33	18	青木正俊	さいたま市
6	32	16	栗原省二	鴻巣市
7	31	17	新部泰治	さいたま市
7	31	15	新井 巖	深谷市
9	26	16	植平 徹	越谷市
10	25	16	四分一保雄	羽生市
11	20	12	新井勇吉	川口市
12	18	8	舟木数樹	さいたま市
13	13	7	久保田忠資	狭山市
14	12	5	浅見 徹	さいたま市
15	7	7	榎本秀和	鴻巣市
16	3	3	橋口長和	春日部市

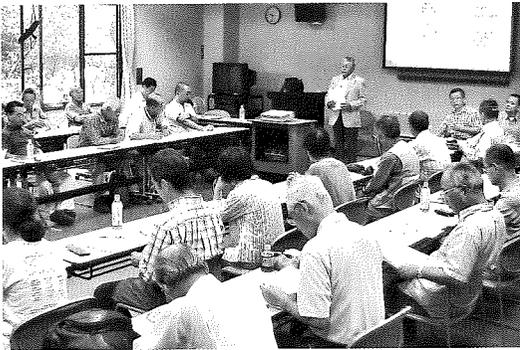


## 行事報告

9月2日(日) リーダー研修会

参加：41名 天気：曇

北本市石戸宿の埼玉県自然学習センターで開催。午前中は、普及部編集の『探鳥会のすすめ方』にそって座学を30分、その後2班に分かれ、6月に就任した新幹事をメインリーダー、今回初参加の新リーダー候補がサブリーダーの想定で、模擬探鳥会を行った。昼食後、自己紹介、2008年度に行うシラコバト調査の説明と支部各部の紹介を行い、藤掛支部長から新リーダーに腕章を手渡して閉会した。新リーダーは、岡田洋民(深谷市)、金子誠一(さいたま市)、小林正義(久喜市)、舟木数樹(さいたま市)、星 進(人間市)、森下久美子(越谷市)の6名。(橋口長和)



11月11日(日) 熊谷市 大麻生

参加：24名 天気：曇

カイツブリ カワウ ダイサギ カルガモ オオタカ ハヤブサ コジュケイ キジ キジバト コゲラ ヒバリ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス エナガ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ ベニマシコ シメ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (31種) 250回目の大麻生探鳥会ということで、少し怪しげな空模様ではあったが探鳥会を決行。出発するとすぐ、モズ、シメ、カワラヒワ、ホオジロが出現。鉄塔にはハヤブサが羽を休めている。河原に出るまでにジョウビタキ♀、

アオジ等も姿を見せる。広瀬河原では、ツグミ、カシラダカ、キジ等も。終了と同時に雨が落ちてきた。(後藤康夫)

11月17日(土) 栃木県奥日光

参加：36名 天気：晴

カムリカイツブリ カワウ アオサギ マガモ コガモ ヨシガモ オカヨシガモ ヒドリガモ ホシハジロ キンクロハジロ トビ オジロワシ オオワシ ノスリ オオバン アカゲラ コゲラ セグロセキレイ ヒヨドリ カワガラス ミソサザイ ツグミ キクイタダキ コガラ シジュウカラ ゴジュウカラ キバシリ カシラダカ マヒワ オオマシコ シメ カケス ハシボソガラス (33種) 晩秋の奥日光は晴れて暖かかった。千手ヶ浜で遠くのオジロワシを見つけて近寄ろうと柳沢川沿いに歩くと、対岸からオオワシが突然飛び出し、肩と尾の白さが目に焼きついた。最後に、真っ赤なオオマシコ♂を近くから見られた感激と共にバスに乗った。(玉井正晴)

11月17日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア：10名

池田泰右、海老原教子、海老原美夫、鬼塚勝靖、島田沙織里、島田貴子、仁位恭子、仁位大輝、増尾隆、松村禎夫

11月18日(日) 嵐山町 菅谷館都幾川

参加：66名 天気：晴

カイツブリ カワウ ダイサギ アオサギ カルガモ ヒドリガモ オオタカ ノスリ コジュケイ クイナ イカルチドリ クサシギ タカブシギ キジバト カワセミ コゲラ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス エナガ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (37種) 秋晴れの下、嵐山は紅葉も盛り。都幾川に出るとイカルチドリが数羽、カワセミも姿を見せてくれた。上空にはオオタカが飛翔。川沿いの笹藪からはアオジも出現。河川の水たまりにはタカブシギ、また最終地点ではクサシギ、クイナも姿を見せた。気候にも恵まれ、楽しい1日を皆さんも過ごされたのではないかと思います。(後藤康夫)

11月18日(日) さいたま市 三室地区

参加: 66名 天気: 晴

カワウ ダイサギ コサギ アオサギ マガモ  
カルガモ コガモ オカヨシガモ ヒドリガモ  
オオタカ チョウゲンボウ バン オオバン ユ  
リカモメ キジバト コゲラ ヒバリ キセキレイ  
イ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ  
モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュ  
ウカラ メジロ ホオジロ アオジ カワラヒワ  
シメ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラ  
ス ハシブトガラス (36種) 小春日和。青空の下  
をみんな仲良く鳥を見ながら歩いた。見沼田んぼ  
は素晴らしいなど穏やかな気持ちになり、今年の秋  
も無事に終わる。小学校2年生の男の子と女の子、  
そして4年生の女の子が、探鳥会の楽しさをミー  
ティングでお喋り。 (楠見邦博)

11月23日(金、休) さいたま市 見沼自然公園

参加: 68名 天気: 快晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ カルガ  
モ コガモ オカヨシガモ ヒドリガモ オナガ  
ガモ ハシビロガモ ホシハジロ バン オオバ  
ン イソシギ キジバト カワセミ コゲラ ヒ  
バリ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ  
ヒヨドリ モズ ツグミ ウグイス キクイタダ  
キ シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ  
カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラ  
ス ハシブトガラス (35種) 快晴であったがあいにく  
と風が強く、鳥たちはなかなか顔を出してくれな  
かった。後半風が弱まってからカワセミが何度か  
出てくれて、場を盛り上げてくれたのが救いだっ  
た。自然公園の池ではカモ達やバン、オオバンま  
でが目の前に寄ってきて(餌づけの習慣がついて  
しまった)初心者への識別学習には好都合?だった。  
(工藤洋三)

11月23日(金、休) 春日部市 内牧公園

参加: 33名 天気: 晴

コサギ アオサギ タシギ キジバト カワセミ  
コゲラ ヒバリ ハクセキレイ セグロセキレイ  
タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグ  
ミ エナガ シジュウカラ メジロ アオジ カ  
ワラヒワ シメ スズメ ムクドリ ハシボソガ  
ラス ハシブトガラス (24種) 飛来が遅れて心配  
したツグミ、シメを確認、ホッとした。昨年同時

期に比べて種数、個体数共に少ないが、非番?の  
カワセミ、次いでエナガが出てくれて探鳥会を盛  
り上げてくれた。この2種は当地の探鳥会では初  
70、71番目となる。 (石川敏男)

11月24日(土) 蓮田市 黒浜沼

参加: 51名 天気: 晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ カルガ  
モ コガモ ハシビロガモ オオタカ ノスリ  
チョウゲンボウ キジ バン オオバン キジバ  
ト カワセミ アリスイ ヒバリ ハクセキレイ  
セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジ  
ョウビタキ シロハラ ツグミ ウグイス シジ  
ュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオ  
ジ オオジュリン カワラヒワ シメ スズメ  
ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガ  
ラス (39種) 上沼でカモを見ていたら、当地では  
珍しいノスリがカラスにモビングされて現れた。  
そこへもう1羽のノスリとチョウゲンボウが大接  
近。さらに対岸の柳に止まっているアリスイに大  
騒ぎになった。渡来が遅れていた冬鳥たちも多く  
姿を見せてくれた上に、もう一度アリスイを見る  
幸運に恵まれた。 (玉井正晴)

11月25日(日) 本庄市 坂東大橋

参加: 33名 天気: 快晴

カイツブリ カワウ アオサギ マガモ コガモ  
ヨシガモ オカヨシガモ ヒドリガモ トビ オ  
オタカ ノスリ ハヤブサ チョウゲンボウ イ  
カルチドリ ハマシギ アオアシシギ キジバト  
カワセミ ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ  
セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジ  
ョウビタキ ツグミ ウグイス ホオジロ カシ  
ラダカ アオジ カワラヒワ ベニマシコ シメ  
スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハ  
シブトガラス (39種) 小春日和とは今日の為にあ  
る言葉かと思える程の好天だがちょっと気が重い。  
前日の下見でカモが3種しかいなかったのだ。し  
かしスタートして間もなくベニマシコ、続いてジ  
ョウビタキ、更にオオタカが出現してほっとする。  
その後も樹上のチョウゲンボウ、池のカワセミな  
どを見ながら河原へ。昨日留守にしていたヨシガ  
モもいてくれた。おまけは帰り遅れたアオアシシ  
ギ。終わってみれば昨年を超える39種と嬉しい探  
鳥会になった。 (新井 巖)



**●「できるだけ電車バスなどの公共交通機関を使って、集合場所までお出かけください。」**

これはご存知、行事案内欄の決まり文句です。「世の中は車社会なのだから、探鳥会の集合もそれを優先的に考えなければ」とのご意見が、支部事務局に寄せられました。当支部はもちろん、車で来ないでと言っているわけではありませんが、車社会だからこそ、できるだけ電車バスなどの公共交通機関で、探鳥会にご参加いただきたいと考えています。地球環境を考える自然保護団体として、今後もこの姿勢は続けます。ご理解をお願いします。

**●本部理事会に出席**

2月16日(土)都内品川区の本部事務局で開催された理事懇談会・理事会などに、海老原美夫副支部長が理事として出席。20年度予算事業計画などを審議し、FG『日本の野鳥』増補改訂版 6000部発行 5700部出荷済、第2刷 8000部増刷中などの報告を受けました。

**●鳥獣保護員推薦**

県みどり自然課から、20年度県鳥獣保護員推薦の依頼があり、2月17日(日)の支部役員会を経て、前年度に引き続き福井恒人・小荷田行男の2名を推薦しました。

**●普及活動**

1月10日(木)本庄市立藤田公民館、1月27日(日)と2月3日(日)同市立旭公民館、2月24日(日)児玉郡神川町立神川中央公民館主催の野鳥観察会で、町田好一郎が、野鳥観察の基本をレクチャー、フィールドで観察実技を講習しました。

1月27日(日)県立小川げんきプラザ主催野鳥観察会が比企郡小川町の金勝山で開催され、後藤康夫、青山紘一、千島康幸の3名

が、野鳥シルエットクイズ、野鳥観察を指導しました。

**●会員数は**

3月1日現在 2,246人です。

**活動と予定**

2月9日(土) 3月号校正(海老原美夫・大坂幸男・喜多峻次・藤掛保司・山田義郎)。

2月13日(水) 富士見市立勝瀬小学校5年生から、総合的な学習で地球温暖化と野鳥の関係についてFAX質問。事務局が回答。

2月17日(日) 役員会(司会：藤掛保司、各部の報告・8月までの行事予定・その他)。

2月18日(月) 「支部報だけの会員」に向けて3月号を発送(倉林宗太郎)。

**●事務局の予定**

4月5日(土) 編集部・普及部・研究部会議。

4月12日(土) 5月号校正(午後4時から)。

4月19日(土) 袋づめの会(午後3時から)。

4月20日(日) 役員会(午後4時から)。

**編集後記**

本部の評議員・監事・常務理事・理事を24年間も続けてきましたが、公益法人制度改革なども関連して今限りで卒業。皆様のご支援、本当にありがとうございました。支部事務局や編集などは、今後もよろしく。(海老原美夫)

先日、北本の自然観察公園でビデオカメラを置き忘れた。幸い事務所に届けられており、届けてくださった方(偶然にも埼玉県支部会員)にもお会いできた。私にとってこの地は、「農事試験場跡地」と呼ばれた頃からのつきあいで、支部入会のきっかけとなった所でもある。またひとつ、いい思い出をフィールドノートに記録できた。(山部直喜)

しらこぼと 2008年4月号(第288号) 定価 200円(会員の購読料は会費に含まれます)  
 発行人 藤掛保司 編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部 郵便振替 00190-3-121130  
 〒330-0064 さいたま市浦和区岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号  
 TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460 <http://35.tok2.com/wbsjsaitama/>  
 編集部への原稿 [yamabezuku@hotmail.com](mailto:yamabezuku@hotmail.com) 野鳥情報 [toridayori@hotmail.com](mailto:toridayori@hotmail.com)  
 住所変更退会などの連絡先は 〒141-0031 品川区西五反田3丁目9番23号 丸和ビル  
 (財)日本野鳥の会 会員室会員グループ TEL 03-5436-2630 FAX 03-5436-2635  
 本誌掲載記事はホームページに転載される事があります。本誌またはホームページからの無断転載は、かたくお断りします。 印刷 関東図書株式会社